

始め組合長3回、副組合長7度歴任)内山岬を京都理容業界及び組合の最功労者として組合葬の礼式執行す。

10月、変動中の理容料金50銭と安定す。この料金は昭和15年頃までつづく。上海事変起る。五、一五事件(犬養首相暗殺)オリンピック・ロスアンゼルス大会日本水上5種目優勝。

昭和8年(1933)

1月、石本喜蔵(松原支部代表)第17代組合長就任。(副と会計不詳)京理学校設立者を竹原富三に変更の件認可。

3月、京都理髪学校を中等学校職業学校規定による実業学校として文部大臣認可。

9月、橋 幸太郎(たちばな・こうたろう)松原支部議員が議員会選挙の結果、組合長(第18代)と定まる。副組合長と会計 上出定吉。

10月、組合事務所南接の土地を買収し、京理学校と事務所の増改築準備を行う。耳剃禁止(京都府)京都市長 大森吉五郎提案により市内の理容組合店舗へ市公報及びパンフレット雑誌等を配布し大森文庫と呼び設置す。大礼記念京都美術館完成。

昭和10年(1935)

3月、組合と学校の増築竣工。(昭和9年起工)

4月、青年学校令公布。責任者 上出定吉。

9月、橋組合長は満期退任し、後任として瀧淵清蔵が就任す。副組合長 内山順。(故内山岬長男)

12月、美容術営業取締規則第47条第2項の規定による「営業科目認定の証明書」の交附。(京都府令第24号)、理容料金50銭。京都市人口100万突破。(1,080,593人)

昭和11年(1936)

1月、「京都市美容術営業組合」と改称。

3月、京理学校の美容専修科設置の件、文部大臣より認可。

5月、大日本美容連盟結成(関西)

6月、京都府理容連合結成準備。

11月、結成第1回会合。役員 山形常太郎、内山順等。各郡部代表者 計24名。(会場 組合本部)京理組合は府市の2本建構成。組合議会において新体制の組合長として内山順(うちやま・じゅん)を第20代組合長に推選す。副組合長に米田勇次郎(松原支部)がなり府連合会長を兼任す。鴨川大氾濫市内大被害、二、二六事件(斎藤実、高橋是清暗殺)日独防共調印、日支時変深刻化す。

昭和13年(1938)

6月、内山順組合長府連合結成後再任。(第21代)11月に内山組合長都合により退き、11月27日、泉金蔵(堀川支部)が組合長(22代)に推選さる。副組合長 三宅寅造(中立売支部)会計 正堺秋助。(堀川支部)

12月、組合員 池田東四郎五条支部長は支部の分離独立計画を策したるも泉組合長は三宅副組合長と協力して、組合員の動揺を防ぎて鎮撫に努力した。克く組合の面目を保持し解決す。一時は非常なる混乱を見たり。理容料金50銭。国家総動員法成立、インフレーション(生産過少消費大通貨膨張物価高の不景気)時代となる。物価昂騰。綿製品の製造販売禁止、東京オリンピック中止。

昭和14年(1939)

4月、泉組合長辞任。細見金八(中立売支部)組合長(23代)副組合長 森口正智(川端支部)会計 宮本九兵衛(中立売支部)と決定。諸物価昂騰と理容必需品(シャンプーやタオル等)の極度の品、払底に対処するため、その対策と理容料金改正を府当局へ請願し生活苦緩和方を提言、運動を始めたるも積極的行動の過度は組合員の融和を欠き、9月上旬細見組合長退任す。時節柄議員会は、緊急集会を開き全員出席強行。9月10日、上田留吉(川端支部)を再度起用、第24代組合長に副には前組合長泉金蔵、会計にはベテランの宮本九兵衛留任し、料金改正運動に逡巡努力したるも当局に容れられず遂に組合長の権限を以て改正料金の強行実施を行いたるため府当局の忌諱に触れ、その責任をとって組合三役辞職す。理容料金50銭固定。(米価36銭)理容組合員1,300店。(8支部組合)パーマメント・ヘア廃止、貸銀統制令公布、米穀配給統制法実施。国民徴用令公布、価格統制令施行。

昭和15年(1940)

非常時体制とともに組合の運営難時代となり、1カ年末満に3度の組合長交代就任す。

5月、組合長(25代)石本喜蔵(松原支部 元組合長)再度就任。副組合長 丸山銀助(堀川支部)(会計不詳)と定まるも予算編成の不備により行政確立が不可能となって6月、組合長は松田重治(堀川支部)第26代につき副には丸山銀助と決するも3カ月にして退任した。このむづかしきバトンは9月、宮永久次郎(五条支部長)組合長27代。副組合長 奥田金吉、会計 島田関太郎に渡る。組合は国家新体制に順応し組合規約の改廃の準備、短髪丸刈時代始る。生活必需品切符制採用、日独伊三国同盟成立、大政翼賛会発足。

昭和16年(1941)

国家新体制による組合規約改制、隣保組支部長制実施、組合債整算。

9月、組合員議員会解散。先の規約改正の京都府への申請は1日付を以て安藤京都府